

基本目標4 肥満予防の推進

糖尿病、脂質異常症、高血圧等の生活習慣病は、内臓脂肪の蓄積により起こるメタボリックシンドロームが原因の一つであり、また本人に自覚症状がほとんどないまま進行することが多く、気づかないうちに脳血管疾患や心筋梗塞等を引き起こします。

徳島市では、内臓脂肪の蓄積、いわゆる肥満を予防することで、生活習慣病の発症を早期に予防することを目指します。

徳島市特定健康診査におけるメタボリックシンドローム予備群・該当者の年次推移

(単位:人、%)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
受診者数	13,433		13,854		12,943		13,274	
メタボリックシンドローム予備群(注1)	1,795	13.4	1,864	13.5	1,714	13.2	1,737	13.1
メタボリックシンドローム該当者(注2)	2,228	16.6	2,258	16.3	2,032	15.7	2,129	16.0
メタボリックシンドローム予備群・該当者合計	4,023	30.0	4,122	29.8	3,746	28.9	3,866	29.1

(資料:「徳島市国民健康保険加入者特定健康診査結果」より作成)

(注1)腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上、またはBMI 25以上で、かつ「高血糖」、「高血圧」、「脂質異常」がある状態の3つのうち、1つのみが当てはまる人をいう。

(注2)腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上、またはBMI 25以上で、かつ「高血糖」、「高血圧」、「脂質異常」がある状態の3つのうち、2つ以上当てはまる人をいう。

指標:特定健康診査でのメタボリックシンドローム予備群・該当者の割合

